

**New Products**

**ミューカム/タカラベルモント**  
 <拡大術野映像システム>



タカラベルモントから発売された“ミューカム”は、モニターを見ながら診療ができる拡大術野映像システムです。21.5インチのモニター使用で約20倍の拡大術野を獲得し、カメラとモニター間のタイムラグを感じず、術野をリアルタイムに表示します。これからの診療のカチカチを変える映像診療システムです。

【特徴】

- フルハイビジョンのクリアな映像を表示します。
- オレンジフィルタを搭載し、充填材の早期硬化を抑制します。
- ドクター側は直視の視線から少し視線をあげることで拡大術野が得られます。患者さんを視野に入れながらの治療が可能です。また、アシスタント側はドクターサイドにモニターを設置することで、ドクターの補助をしながら患者さんの状態を確認し、ドクターの処置領域映像を共有することができます。
- オプションで術中の映像を記録できる録画装置を取り付けることが可能です。

標準価格＝床固定タイプ 1,900,000円  
 可搬タイプ 1,950,000円

**セラマーシュ デュオ/松風**  
 <前臼歯対応歯冠用硬質レジン>



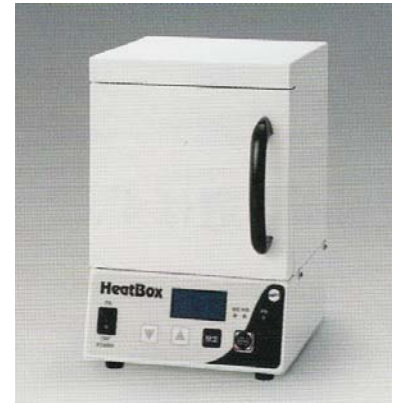
松風から発売された“セラマーシュ デュオ”は、従来品の「セラマーシュ」で好評の「扱いやすいペースト操作性」、「天然歯に近い色調再現性」を継承しつつ、「利便性」と「耐久性」の追求をコンセプトに誕生した前臼歯対応歯冠用硬質レジンです。2つの重合システム<Duo-System>と2つの新技術<Duo-Tech>の採用により、多様化した各種補綴装置に対応します。

【特徴】

- 利便性を追求した光重合方式と、より高い耐久性を追求した光重合+加熱重合を選択して利用できる Dual Use Operation システムを採用。
- 新技術の Duo-Tech は、モノマーテクノロジーとフィルタテクノロジーの2つの機能の融合をコンセプトに開発。
- セラマーシュデュオに採用した i-PFS フィラーは、従来品のセラマーシュに採用している PFS フィラーの形状（球状）・大きさ（3mm）・形態（特殊凹凸形状）が近似しているため、セラマーシュと極めて類似した操作感を実現します。

標準価格＝ベーシックセット 105,000円  
 イントロセット 24,000円

**ヒートボックス/松風**  
 <歯冠用硬質レジン用加熱重合器>



歯冠用硬質レジンのより高い物性を得るための加熱重合器“ヒートボックス”が松風から発売されました。松風から同時発売された「セラマーシュデュオ」は、光重合でも十分な強度が得られますが、本器で加熱重合を行うことで、さらに高い物性が得られます。

【特徴】

- 安定した温度制御を実現し、重合時に起こるクラックの発生リスクを低減します。
- 重合室内の温度分布が均一なため、安定した加熱重合が可能です。
- シンプルな操作パネルとコンパクトなボディは、設置場所を選ばず、快適な作業環境を提供します。
- 「セラマーシュデュオ」の場合、光重合+加熱重合で曲げ強度 250MPa 以上を実現。より高い耐久性が得られます。
- 「セラマーシュデュオ」の場合、最終光重合後、ヒートボックスで加熱温度 110℃、15分の加熱重合でさらに高い物性が得られます。

標準価格＝本体一式 82,000円

**My Recommendation**

『ユーベニア』  
 <ウルトラデントジャパン>



標準価格＝セット 72,000円

「プチ自費」で新しい審美歯科修復のご提案！

今回ご紹介致します商品は、ウルトラデントジャパンより発売されておりますダイレクトコンポジットベニアのためのテンプレートシステム『ユーベニア』です。テクニックを要する前歯部の修復において、審美修復を簡便に、即時に行うことができ、ご使用のコンポジットレジンそのまま使用することが出来ます。テンプレートは光照射器の光も効果的に透過し、酸化未重合層も防げる為、最小限の研磨で光沢のある仕上がりとなります。補綴物作成前のモックアップやテンポラリーとしても活用可能です。テンプレートはオートクレープ滅菌が可能で、繰り返し使用いただくことができるため、ランニングコストも抑えることができます。

導入頂きました医院様からは、「前歯部の修復が今までの半分以下の時間で行えるようになった。」「前装冠の点数と同じくらいの金額をいただいているが、自費用のコンポジットレジンを使っても採算は取れるし、何より前歯部を気にされていた患者さんにとっても喜んでもらえた。」とお声を頂いております。ウルトラデント社のホームページにて使用方法の動画もご覧いただけますので、是非この機会に一度ご覧ください。また、詳細は弊社営業担当者までお問い合わせ下さい。

鹿児島店 営業一課 財部 大輔

## 歯科医院経営を考える(473)

～ 院長の衛生士教育 ～

デンタル・マネジメント・コンサルティング

稲岡 勲

ある歯科医院の院長と話をしている最近の衛生士の問題に話が及ぶと、院長は最近に若い衛生士との接し方が難しいという。21歳と23歳の二人の衛生士がいるそうだが、少し注意をし、苦情を言うとすぐシュンとなってしまし、言わなければ直そうとしない、だからついつい注意するのをためらってしまうのだという。ある大学の教授がこんなことを言ってこぼしていた。純粋な子ほど「批評」を「否定」としか捉えない。彼らには「称賛」だけが「肯定」なのだ。無暗に褒められてきた子供たち。素晴らしい、天才、といわれなければショックを受け、さらに「ここはよくない」と言われ驚く。彼らはこれを「怒られた」と言う。僕は怒ってなどいない。僕の本音の指摘は「怒り」や「人格否定」と解釈されてしまう。確かに最近の若いスタッフはこうした傾向にあると思う。しかしこういう関係では衛生士の実務能力も伸びないし、ましてや人間的な成長ほど期待できない。衛生士の仕事は単に患者の口腔清掃だけをやればよいというものではない。患者の身体は勿論、感情面のケアもする必要がある。となると衛生士自身の人間的な成長なくして患者と向き合うことが不可能になる。患者の中には怒鳴り散らす強面の患者もいれば、丁寧な言葉遣いをして、一部の隙も見せない患者もいる。それに応じてどう対処していくかは、豊富な人生経験を活かしながら、その場、その時の患者の心理、心情を的確に把握して対処する必要がある。衛生士学校を卒業して初めて歯科医院のスタッフとなり、人生経験豊かな患者を前にして、どうつくろって見たところで患者にかなうわけがない。その時に大きな武器になるのは若い情熱だ。科学に基づいた知識を熱っぽく患者に話し、患者自身のために説いているという熱意で語るしかない。情熱が人を動かすという典型だ。若いうちはそれを武器として必死に対応すればよい。先ず院長は若い衛生士にそれを体験させる努力をすべきだ。とにかく患者に正面からぶつかっていく情熱を鍛える。そのためにはしっかり基礎知識を身に付けさせ、それを臆せず話しかける努力だ。熱意とともに話術も重要になるし、患者がどのような反応を示しているかの観察も重要になる。時には患者の逆鱗にふれ怒鳴られることもあるが、その時に救いになるのは院長の「よくやっている」という承認と努力に対する惜しみない賛辞である。将来の人材に育つかどうかは院長の対応次第であると思う。

(つづく)

※玉井ニュース 2017年 2月号より転載。

## New Books & Video

### ★今週の新刊

#### 『笑うでんていすと』



板井歯科医院の先生とその周辺で次々に起こる愉快な出来事を掲載した歯科系フィクションの傑作ショートショート集。読めば気持ちが楽になる。悩み多きまじめな歯医者さんのためのサブリ本。明るく楽しい田舎歯医者さんの姿が楽しめる一冊。

- 著 = 板井 太郎
- 出版 = 永末書店
- 価格 = 1,200円 + 税

#### 『第3版 イラストと写真で分かる歯科材料の基礎』



歯科衛生士の人気テキスト第3版！より理解しやすく、材料の重要なポイントを把握しやすいよう編集された待望の最新版。新しい材料への情報のアップデート、教育、臨床現場のニーズを反映させ、材料の使用手順を把握しやすい豊富な写真とフルカラーのイラストで掲載。

- 監著 = 竹澤 保政
- 編集 = 渡辺 美里
- 出版 = 永末書店
- 価格 = 3,800円 + 税